



JA水郷つくばパソコン研究会

9月になり、皆さん稲刈りやレンコン堀り等お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。パソコン研究会会員でも大分ワクチン接種2回目が終了したものの、デルタ株の急激な広がりで茨城でも8月に緊急事態宣言が発令されたこともあり、まだ定例会を通常開催に持っていけない状態が続いております。まだ少しはWEB定例会として行っていきますのでよろしくお願いたします。質問等はメール等でお願いたします。

9月 7日 14日WEB
21日 WEB講座 (SNS)
28日 WEB (PCフォーラム発行)

予定は変更になる場合があります。HP等でご確認ください。
<https://dappe.com> (ばそこんだっぺで検索)

◆コロナウイルス関連の情報を注視して、定例会はメーリングリスト、LINEグループなどで行っています。

10月 5日、12日 WEB
19日 WEB講座 (SNS)
26日 WEB (PCフォーラム発行)

お問合せ 事務局 営農企画課
電話 029-823-7001 千野田まで
mail:japc2@dappe.com 小林まで

今月の特集 フィッシング詐欺

相変わらずフィッシング詐欺は多いようですね。Amazon、楽天、銀行系カードを装って「アカウントが停止されたので再度ログインしてください」などと二重画面に誘ってパスワードなどを入力させる手口です。

フィッシング対策協議会は8月4日、フィッシングに関する2021年7月の集計結果を発表しました。

それによると、同協議会に寄せられたフィッシング報告件数は、2021年6月の30,560件より4,227件増加し34,787件でした。今年は4月にピークを迎えて以降、減少傾向が続き、6月にはこの1年で最少となりましたが、また増加に転じた形です。

フィッシングサイトのURL件数(重複なし)は、6月から1,714件増加し、8,108件でした。フィッシングに悪用されたブランド件数(海外含む)は、6月から8件減少し74件でした。

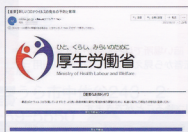
全体の傾向として、Amazonを騙るフィッシングメールが多く、割合は33.1%とかなり増えたものの、いまだにトップとなっています。以下、三井住友カード、楽天、イオンカード、VISAが続く、これら上位5ブランドで報告数全体の約67.8%を占めました。またこれらブランドの報告数も増えていきます。

発信元情報をなりましたSMS(ショートメッセージ)では、Amazonや宅配業者の他、Apple、LINE、ドコモなどを騙るSMSが、引き続き多く報告されました。

フィッシング以外では、「ショップや有名人のSNSの公式アカウントに似せた偽アカウントからの賞品当選メッセージ」「無料のスポーツ動画配信サービスを装うサイト」などから、フィッシングサイトに誘導するケースが報告されています。「ピットコインを要求する脅迫メール(セクストーションメール)」にも引き続き注意が必要でしょう。

さてもう一つは、現在のコロナウイルス感染関連で、「厚生労働省」の二重サイトに誘導されるものです。

日本サイバー犯罪対策センターによると2021年8月13日、JC3では、厚生労働省をかたる電子メール及びフィッシングサイ



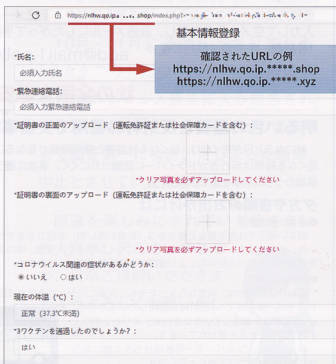
トを確認しています。

この電子メールに含まれるリンク先をクリックしてしまうと、フィッシングサイトに誘導されますので、クリックしないよう注意してください。

今回確認された事例は電子メールによるものですが、SMSについても同様に注意してください。フィッシングサイトに誘導する電子メールやSMSの送信元は偽装されている場合があります。電子メールやSMSのメッセージに含まれているリンク先を安易にクリックしないようにしてください。

フィッシングサイトでは、氏名、緊急連絡電話、証明書写真、体調等について入力する画面が表示されます。政府機関のウェブサイトのドメイン名の末尾が「.go.jp」です。決して入力しないよう注意してください。

この事例からも分かるように、以前からメールアドレスやホームページのアドレスを示す「ドメイン」に注意しなくてはならないことがわかるといえます。



パソコン研究会
ホームページ



JA水郷つくば
広報紙 WEB版